



## サイエンス部大会出場報告



8月、サイエンス部が、全国大会などに出場し、すばらしい成果をあげました。その報告をします。

### ①生物班

**SSH全国生徒発表大会で文部科学大臣表彰(全国1位)受賞！  
平成30年度・中国・四国・九州大会で最優秀賞(1位)受賞！  
全国総文祭出場**



生物班は、「幸屋火砕流から7300年立ち直れていない？大隅諸島のエンマコガネと幸屋火砕流の関係」というテーマで研究し、見事SSH全国生徒発表大会で文部科学大臣表彰を受賞、平成30年度中国四国九州大会で最優秀賞受賞、全国総文祭に出場しました。3年生の有村登紀君、今堀晟史朗君、永田梨奈さん、牧瀬桃香さんに話を聞きました。

「小学生の頃からカブトムシ・クワガタムシ・アゲハなど虫に興味があつて国分高校では課題研究をしていると聞いて理数科に進みました。大変だったことは、①虫を飼育すること、②エンマコガネにスポーツテストをさせるという実験を行いました。なかなか思い通りに走ってくれなかったこと、③部活動と研究との両立でした。楽しかったことは、①毎日観察するうちにかわいく、愛着がわいたこと、②研究したことを他の人に伝えるという経験ができたことです。SSH全国生徒発表大会では、緊張することなく、自分のペースで発表することができました。大分の舞鶴高校がサルの研究ですばらしい発表を行ったので、優勝できて、大変驚き、うれしかったです。これからも、研究を通して学んだことを生かして勉強し、人に伝えて行きたいです。」



### ②地学班

**平成30年度・中国・四国・九州大会で最優秀賞(1位)受賞！  
全国総文祭出場**



地学班は、「天降川の旧河道を研究し、ハザードマップを作成する」という内容で、平成30年度中国四国九州大会で最優秀賞受賞、また、全国総文祭に出場しました。3年生の田川彩乃さん、嶋田清花さん、濱松潮音さんに話を聞きました。

「地学という科目は、自然科学の中でも歴史的なことを勉強できることが魅力です。大正噴火に興味があり、できることならこの目で見てみたいです。それぞれ部活動をしていたので、時間が少ない中で研究は大変でしたが、その分集中して取り組めたことがよかったです。現地に行って調べたことをみんなで分析する作業は大変でしたが、楽しかったです。最後の大会で最優秀賞をいただいたときは、今までの苦労が報われ、とてもうれしかったです。生徒交流会で、他の高校と交流しました。どの研究も、社会貢献をテーマに考えていたことが印象に残りました。研究を通して多くのことを学びましたが、これまで苦手だった人前で話すことにも自信がつかえました。プレゼン力・コミュニケーション力は必要なので、これからも磨いていきたいです。家の近くの地域のハザードマップを作って社会に貢献したいです。」



